

雲仙治山だより

発行・連絡先 / 長崎県島原振興局農林水産部林務課

〒855-8501 長崎県島原市内1-1205 電話 0957-63-5073

令和4年(2022)年

7月発行

(vol.10)

令和4年度 防災対策現地視察（水無川流域治山事業）で説明

梅雨期を前に島原市主催による防災対策現地視察が、5月10日、市長をはじめ防災関係機関（雲仙砂防管理センター、長崎森林管理署、警察、消防、島原振興局）約50名が参集し、眉山や水無川流域の砂防・治山事業、白水川下流の高潮対策の現状を確認し、災害発生時の迅速な連携・対応に役立てようと開催されました。（写真1）

今年度は、水無川流域での現地視察はありませんでしたが、島原市森岳公民館において島原振興局林務課長より、水無川流域の治山対策として、令和3年度の事業内容（航空実播工（追肥）3.9ha）と水無川（炭酸水・極楽谷）の観測結果（土石流発生は確認されなかった等）を現地写真等で説明しました。

また、本年度実施予定として、極楽谷・炭酸水谷の治山ダムの本体工事、それに付随する緑化工事の完成によって、ハード対策が令和3年度を持って当面の完成となりました。

そのため、雲仙地区治山対策検討委員会の提言を踏まえ、赤松谷本流、極楽谷、炭酸水谷における観測・調査を引き続き実施し、それらの情報発信を通じて「地域の安全・安心に寄与していく」ことを説明しました。（写真2）



写真1：島原市長の挨拶



写真2：林務課長による説明

赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷における観測・調査を実施

～土石流の発生は確認されていません～

今年の梅雨入りは、平年より7日早い、6月11日ごろと発表され、梅雨明けが6月28日ごろとなり、梅雨期間は17日間で最短を記録しました。この間の雨量は、6月20日から22日までの連続雨量153.5mm、5月21日の時間雨量29.5mmが最大となっています。

また、今年の4月以降では、4月26日から27日までの連続雨量184.0mm、5月26日の時間雨量50.5mmが最大となっています。

第一四半期の定期観測・調査として6月30日、赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷についてドローンで空撮（写真3）を実施し、各溪流の変化を確認しました。

また、今回は、極楽谷・炭酸水谷の状況を直接目視するため、最上流にある第7号治山ダム（写真4）から約250m上流の極楽谷・炭酸水谷の合流点（写真5）、さらに約1,300m上流の炭酸水谷（写真6）について令和3年12月15日撮影と比較しました。

その結果、全体的に谷の深さが、約10~20m程度で、一部斜面が崩れたところがありましたが、溪流内には植生が確認されるなど、昨年度の観測・調査結果のとおりに、土石流の発生など大きな土砂移動の形跡は確認されませんでした。



写真3：赤松谷本流・極楽谷・炭酸水谷の状況



写真4：安定した第7号治山ダムの堆砂状況



写真5：第7号治山ダムから約250m上流部



写真6：第7号治山ダムから約1,300m上流部